

大会経費の主な削減努力 (▲約 1,000 億円超)

- 選手村の施設整備を取りやめ、ホテル等を活用 ▲約 600 億円超
- 使用するホテルの集約 (▲35 施設) 等 ▲約 40 億円
- 水泳・馬術の競技会場を東京へ移転 (仮設費の減) ▲約 210 億円
- サッカー競技の 2 会場を削減 (仮設費・運営費の減) ▲約 40 億円
- 競技会場仮設費等の削減 ▲約 90 億円
 - ・全 56 競技会場の設営・運営業務を一体的に委託
 - ・競技会場の仮設工事内容 (資材・工法等) を見直し
 - ・会場諸室等として自治体の防災施設等を借用
- マラソンスイミング競技を取りやめ (仮設費・運営費の減) ▲約 10 億円
- 選手等の滞在期間 (ピリオド・オブ・ステイ) を短縮 ▲約 30 億円